

## 平成25年度男女共同参画講演会(吉永みち子さん)講演概要

新宮市では平成 26 年 2 月 27 日、新宮市職業訓練センターにおいてノンフィクション作家の吉永みち子さんをお迎えし、「自分らしく生きる」をテーマに講演会を開催しました。テレビでもおなじみの吉永さんのユーモアを交えながらも分かりやすいお話しに、来場された約 250 人の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。

また、アンケートも実施し、約 65%の方からご協力をいただきました。その中で、「大変良かった」「共同参加と参画の違いがよく分かった」「自分らしく生きることを考えた」などの感想が寄せられています。詳しくは、一覧表のアンケート欄をクリックしていただきますと、アンケート集計結果の PDF ファイルがご覧いただけます。



吉永さんは、「自分らしく生きる」をテーマに講演し、自分らしさは自立して自分らしく生きると同時に、さまざまな生き方を認めていくことだと話し、「自分の思い通りに生きることが、自分らしいではなく、自分の心を持ち、最後に振り返ってみて、自分の色が分かれば満足な一生ではないか」などと話した。

男女共同参画の「参画」と「参加」との違いにも触れ、男女共同参画という言葉が出てきた時、共同参加でもいいのではないかと思ったが、知り合いの先生から「参加」とはその場にいるだけで参加していることになり、サルでもその場にいることで参加したことになる。「参画」とは、ただ参加するだけでなく、計画づくりや意思決定の段階から加わるという意味を持っているとその違いを話した。



若者たちが自己実現できないから会社を辞める、認めてくれないから部屋に引きこもるなどは、自分を大事にしているようにみえるが単に自分勝手ではないかと述べ、今の子どもたちは空気を読むようになっているが、「自分を持っていないうちから空気を読んでいたら自分が持てない。自分を持つことの大切さを教えない」と訴えた。

また、吉永さんは競馬記者になったいきさつや、世間体を気にしながら生きた母親や世間の男女の評価なども講演し、かつては経済力のある男性と、生活力のある女性が結婚して初めて一人前と考える人が多かったが、今は一人で生きていくことが可能な時代になるが、そのためには、個人を尊重し、さまざまな生き方を認め、世間の幅を広げていくことだと話した。

講演する吉永みち子さん（新宮市職業訓練センター） 平成 26 年 2 月 27 日（木）